

「咲きおり」で織る チェック柄のベレー帽



よこ糸の織り密度 3段/cm
たて糸の幅・本数 40cm・118本
たて糸の長さ 105cm
織り上がりサイズ 38cm×50cm



織り地
(織っていくと自然と
チェック柄になります。)

デザイン/曾田よう子
頭周りのサイズ：約 56cm

<用具>

手織り機「咲きおり」 40cm
30羽ソウコウ<40cm>
ミシン
アイロン
布切はさみ「ブラック」24cm
水性チャコペン
待針、ぬい針

<材料>

パピー ヴィツェンツァ(308) 3玉
接着芯 40cm×50cm
生地(裏地に使用します) 40cm×50cm
ぬい糸

<作り方>

①パピー ヴィツェンツァは、1本の糸にストレートの部分と、ループの部分がある段染めの変わり糸です。
たて糸用に、2玉から糸を引き出し、ループ部分の位置が揃うように合わせます。



②そのまま2本同時にたて糸をセットしていきます。
まずソウコウの1羽目、2羽目にセットし、戻る時に3羽目、4羽目にセットします。
このようにセットすることで、チェック柄の格子の幅が広がります。

③たて糸を張り終えたら、別糸(分量外)で3段捨て織りします。

④残りの糸をシャトルに巻き、平織りします。

⑤指定のサイズまで織り上がったたら別糸で捨て織りを3段織り、織り機から外します。

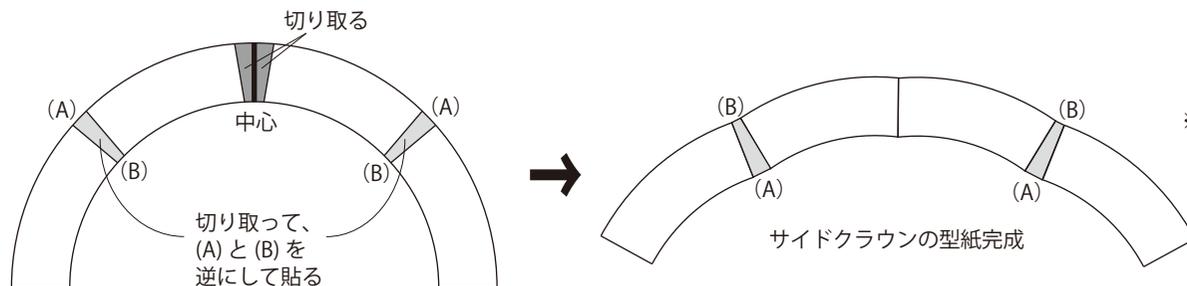
⑥織り地の裏に接着芯を貼ります。

⑥型紙を作ります。

トップクラウンは実物大型紙をそのまま写して使用しますが、サイドクラウンは実物大型紙を使って型紙を作成します。

＜サイドクラウンの型紙の作り方＞

実物大型紙を左右対称に写し、半円形を描きます。中心部分の濃いグレーの部分は切り取り左右を貼り合わせます。左右にある薄いグレーの部分は、切り取って外側 (A) と内側 (B) を逆にして貼り付けます。これでサイドクラウンの型紙が完成です。



※この型紙を織り地・裏地に写す時は、なめらかな円弧を描くように補正してください。

⑦型紙を織り地に写します。すべて1cmのぬいしろを付けてください。この時、サイドクラウンはなめらかな円弧を描くように補正して写します。

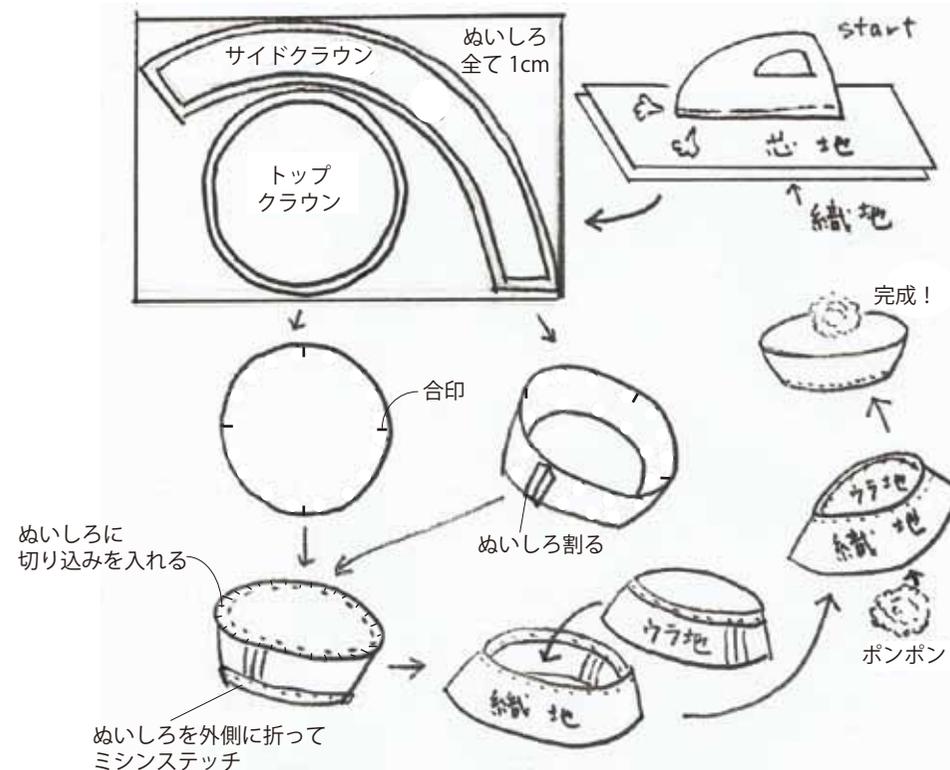
⑧裁断し、サイドクラウンの端と端をぬい合わせて輪にし、トップクラウンとぬい合わせます。サイドクラウンとトップクラウンをぬい合わせた部分のぬいしろに2～3cmごとに切り込みを入れておきます。

⑨かぶり口のぬいしろは外側に折ってぬいとめます。

⑩裏地も同様に作ります。

⑪表地の中に裏地を合わせ、手でまっつてぬい合わせていきます。

⑫裁断した後の織り地のたて糸など、余った糸を集めて中心を束ね、直径約8cmのポンポンを作り、帽子のトップにぬい付け完成です。



クロバー株式会社

「咲きおり」で織る チェック柄のベレー帽 4-2

＜実物大型紙 2-1＞

A4サイズで印刷し、破線(---)部分で貼り合わせてご使用ください。

サイボクラウン

※サイボクラウンは、この型紙をもとにして実際に使用する型紙を作ります。

外側：トツクラウンとぬい合わせる

内側：かぶり口

切り取って、
外側 (A) と内側 (B) を
逆にして貼る

